

株式会社クラボウ
インターナショナル
が紹介します!

面白がりクラボウ人

さあ、
面白がろう。

“仕事を面白がる”とは「既存の枠を壊して新しいことに挑戦し、自ら何かを変えていくこと」。
この企画では「この人こそ面白がって仕事をしてる!」と思う人を紹介してもらいます。

関係会社編



面白がり
クラボウ人

「面白がり」6項目

- 既存の枠にとらわれず、いつも新しいアイデアを追求しよう。
- 広く好奇心を持ち、いろんなことに飛び込んで行こう。
- 互いの個性を受け入れ、どんどん意見をぶつけ合おう。
- 一度やると決めたことは、情熱を持ってやり遂げよう。
- だれかを驚かせ、喜ばせ、ワクワクさせよう。
- 未来の社会に役立つものを生み出していこう。

紹介者

たかもと よしのり
高本 尚孝さん
株式会社クラボウインターナショナル
営業本部 第1部第1課
(2006年入社)

周囲の人を巻き込んで、みんなが喜ぶ仕事がしたい。そんな仕事は面白い。

「太田さんならどんな風に接するだろう?」取引先と打ち合わせするたびに思うことです。

当社はアパレルのお客さまからの要望に合わせて国内外の工場で縫製、製品化しています。私と太田さんは入社年度も近く、名前の漢字も同じ(笑)。若いころからよく2人で一緒にいました。部署は違っても机は近く、会話上手で行動的な彼の仕事ぶりを見てきました。

今年5月、株式会社トリドールホールディングスの「丸亀製麺」のユニフォームをクラボウが共同開発したニュースが流れました。その仕事をまとめたのが太田さんです。クラボウの防汚加工素材を用いて、汚れが付きにくく洗濯耐久性の高いユニフォームを完成させました。さらにすごいのは、当社の取引先でライバル関係となる2社に働きかけ、その会社の持つ技術を用いて厨房でも涼しい電動ファン付きのユニフォームまで作り上げ

たことです。取引先の競合同士を巻き込むなんて、普通できないですよ…。「みんなが楽しくなる仕事がしたい!」という気持ちが企業の枠を超えた連携を生みました。また、その背景には丸亀製麺に毎日足を運び、店員さんの動きやユニフォームの汚れ方を観察する太田さんの誠実な仕事ぶりがあったからだと思います。

お客様の要求に応えるだけでなく、その2歩、3歩先を読んで行動する。私も、太田さんのように楽しみながら仕事をしたいと思っています。だから一度、太田さんのまねをしてフレンドリーにあいさつしたら「何かいいことあったのか?」と不思議そうに言われました。同じようにはいきませんね(笑)。

太田さんが取引先と共に完成させた飲食店向け電動ファン付きユニフォーム



面白がりポイント

みんなに喜ばれる、楽しい仕事をしたい。
だから先のことを考えて積極的に挑む。

株式会社クラボウインターナショナルはこんな会社です!



メーカー系繊維専門商社として日々変化するファッショントレンドに対応するため、高い専門知識とノウハウを駆使し、素材の開発から縫製まで、グローバルなサプライチェーンを構築しています。国内自家工場、協力工場の他、アジアの拠点での生産活動を通じて地域の発展に貢献とともに、お客さまに喜ばれる製品開発に積極的にチャレンジしています。 <https://www.kurabo-inter.co.jp>

